

平成 28 年度 地域志向教育研究プロジェクト中間報告書

番号	2	
① プロジェクト名称	IT 利用デザイン協創プロジェクト	
② プロジェクトメンバー(代表のみ)		
情報フロンティア学部 メディア情報学科	鎌田 洋	代表
③ 参加学生数(報告時点)		
学部 1 ～ 3 年次生	研究室所属学生 (大学院生含む)	外部参加者数
248 名	11 名	10 名
④ 活動報告 (これまでの活動、年度末のまでの活動予定、活動における課題等について書いてください。フォントは 9 ～11pt以内。行間は適宜。写真や図も O.K)		
<p>製品やサービスの提供側である企業等のシーズと利用者のニーズをマッチングさせる IT 利用デザイン協創プロジェクトを実施している。企業等が提示した課題に学生がアイデアを生み出し実現する活動を行っている。2年目は、初年度に引き続き、大学の授業で活動したほか、工場見学や学生プロジェクトでの課外活動の試作や提案に発展させている。</p> <p>授業活動では、第1に、「生涯学習特別講義(コミュニケーション技法)」と「情報フロンティア大意(経営情報)」の授業において、企業の研究所から最近発表した最先端技術の説明を学生が受けた後、学生が最先端技術の利用の仕方を案出して発表する活動を行った。第2に、「メディア情報学統合演習」と「情報フロンティア大意(メディア情報)」の授業において、企業からITやデザインに関する業務についての講義を学生が受けた後、地域の商店街を活性化するための方策やデザインについての提案を学生が行った。</p> <p>課外活動では、第1に、企業のスーパーコンピュータやスキャナの 2 工場に学生チームが見学を行い(図 1)、学生の視点での製品の利用提案を行った。第2に、企業の最先端技術のなかで学生の関心が最も集中した「情報埋め込み型 LED ライト」について、企業から試作品の提供を受けて実験を行い、新しい応用を案出して、学会にて発表した(図 2)。</p> <p>授業活動では、技術の内容に、企業活動に関する講義を追加した点が特徴である。課外活動では、企業のものづくりの現場である工場での学習や提案、および、最先端技術の試作品を用いた応用提案につなげた点は成果と考える。</p> <p>後期においても、上記の前期活動に引き続き、授業と課外において活動を継続、発展させる。また、双方向コミュニケーションシステムを授業やセミナーに導入して、議論の促進を試みる。</p> <p>授業活動では、第1に、「生涯学習特別講義(コミュニケーション技法)」の2クラスの授業において、企業の最先端技術に対する地域貢献ソリューションについての学生のアイデアについてのプレゼンテーション授業を引き続き実施する。第2に「専門ゼミ」「プロジェクトデザインⅢ」授業を対象に、近年、重要性が増している「セキュリティ」に関して、企業講師とのディスカッションベースの授業を実施する。</p> <p>課外活動では、第1に、前期に案出した「情報埋め込み型 LED ライト」の新応用を試作して、学園祭にて展示発表して地域に公開する。第2に、金沢工大の全学生を対象に「起業」「スマートフォンの先進機能を用いた地域を活性化するアプリケーション」に関するオープンセミナーを実施する計画である。より幅広い参加者による幅広いアイデアの創出が期待される。</p> <p>今後の課題は、上記の活動を通じて、地域における貢献につなげることである。</p>		
		
		図 1. 工場見学の風景
		
		図 2. 学会発表の風景